

2015年2月期 第1四半期 決算補足資料

イオンディライト株式会社 

2014年7月2日

- 消費増税前の駆け込み需要とその後の反動減の影響はあったものの、**総合ファシリティマネジментサービス(総合FMS)**の概念の広がりによる需要の取り込みにより、ほぼ計画通りで推移。
- 連結売上高については、イオングループ内LED工事が一巡したことによる建設施工事業の売上減により、前年比△0.4%の**664億円**となった。建設施工以外の事業では、前年同期を上回り、特に自販機・サポート事業は2桁の伸びとなった。
- 全事業における継続的な生産性向上に向けた取り組みと適切な経費コントロールにより、**連結営業利益は、前年同期比+4.4%の35.4億円**となり、**四半期ベースでは、過去最高益**。
- 中期経営計画達成に向けた組織体制の改革と整備を第2四半期までに終了し、下期本格稼働体制へ。特に、施設の老朽化を見据えた活性化工事等の需要取込に向けた**ソリューション営業の強化**と、グループ外売上拡大に向けて**省エネシステム本部**を新たに設置。

生産性の向上と適切な経費コントロールにより

営業利益率0.2ポイント改善(前期1Q 5.1%⇒今期1Q 5.3%)

単位:億円

	2015年2月期 第1四半期実績					
	前期1Q実績	売上比 (%)	今期1Q実績	売上比 (%)	前年比 (%)	前年差
売上高	667	100.0	664	100.0	99.6	△2
営業利益	33	5.1	35	5.3	104.4	+1
経常利益	34	5.1	35	5.4	104.6	+1
当期純利益	18	2.8	20	3.0	108.4	+1

自販機事業・サポート事業は前年比**2桁の伸び**

建設施工事業は消費増税の影響とイオングループ内LED工事の一巡により減収

単位:億円

	2015年2月期 1Q実績			2014年2月期 1Q実績	
	売上高	構成比 (%)	前年比 (%)	売上高	構成比 (%)
設備管理事業	112	16.9	105.7	106	15.9
清掃事業	109	16.5	103.8	105	15.8
警備事業	89	13.4	105.9	84	12.6
建設施工事業	118	17.8	74.6	158	23.8
資材事業	117	17.6	109.3	107	16.1
自販機事業	83	12.5	111.1	74	11.2
サポート事業	34	5.2	116.1	29	4.4

設備管理事業

大型商業施設の新店受託に加え、**BEMS機器を拡販**。さらに、BEMSによるデータ分析から省エネ商材の提案・追加導入を推進

清掃事業

清掃業務改善部を新設、当社直営の品質の向上と生産性の高い清掃サービスの標準化モデルを確立。病院等への衛生清掃モデルにも着手

警備事業

新規受託の促進に加えて、女性警備員による従来の施設内警備に館内インフォメーションなどの接客サービスの**アテンダー**の導入促進

建設施工事業

イオングループ内のLED化工事は一巡。**施設の老朽化を見据えた改装工事やセントラル空調等の熱源更新工事等は好調に推移**

資材関連事業

既存顧客を中心に順調に取引拡大。物流コスト見直しや電子商談による収益性改善に向けた取り組みを実施

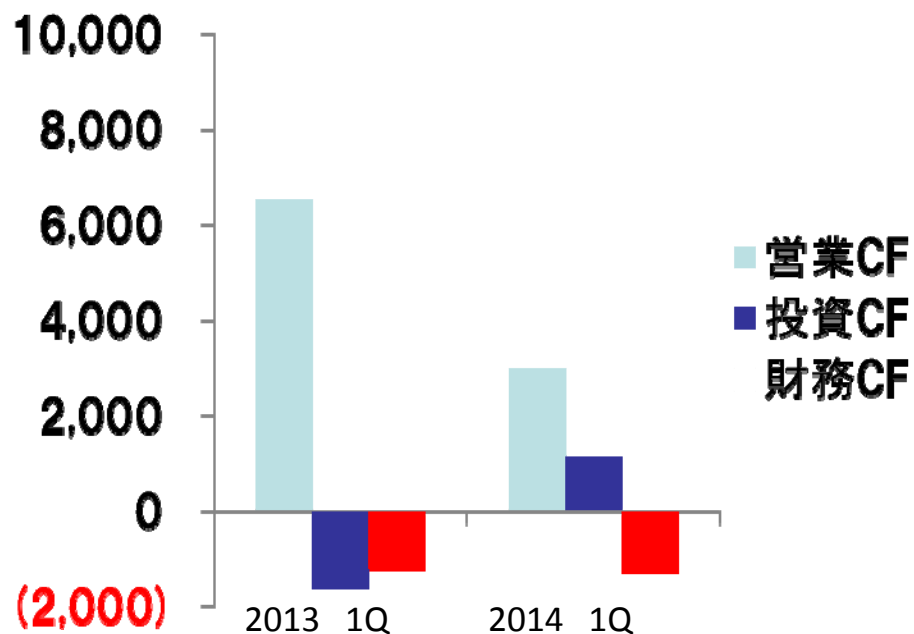
自販機事業

前期に開発・設置した自動販売機の売上寄与、電子マネー対応型の付加価値自販機の展開

サポート事業

イオンコンパスのイベント通販事業や、カジタクの家事代行サービス(家事玄人)の拡販を推進

連結キャッシュフロー計算書



	2014/2 1Q 累計	2015/2 1Q 累計	増減
営業活動キャッシュ・フロー	65	29	△35
投資活動キャッシュ・フロー	△16	11	27
財務活動キャッシュ・フロー	△12	△12	△0.6
現金及び現金同等物の 四半期末残高	134	148	14

主な増減要因 単位: 億円

【営業活動CF】 29億円

税引前当期純利益	35億円
売上債権の増減額(△は増)	△40億円
仕入債務の増減額(△は減)	52億円

【投資活動CF】 11億円

関係会社消費寄託による支出	△492億円
関係会社消費寄託返還収入	509億円

【財務活動CF】 △12億円

支払配当金	△12億円
-------	-------

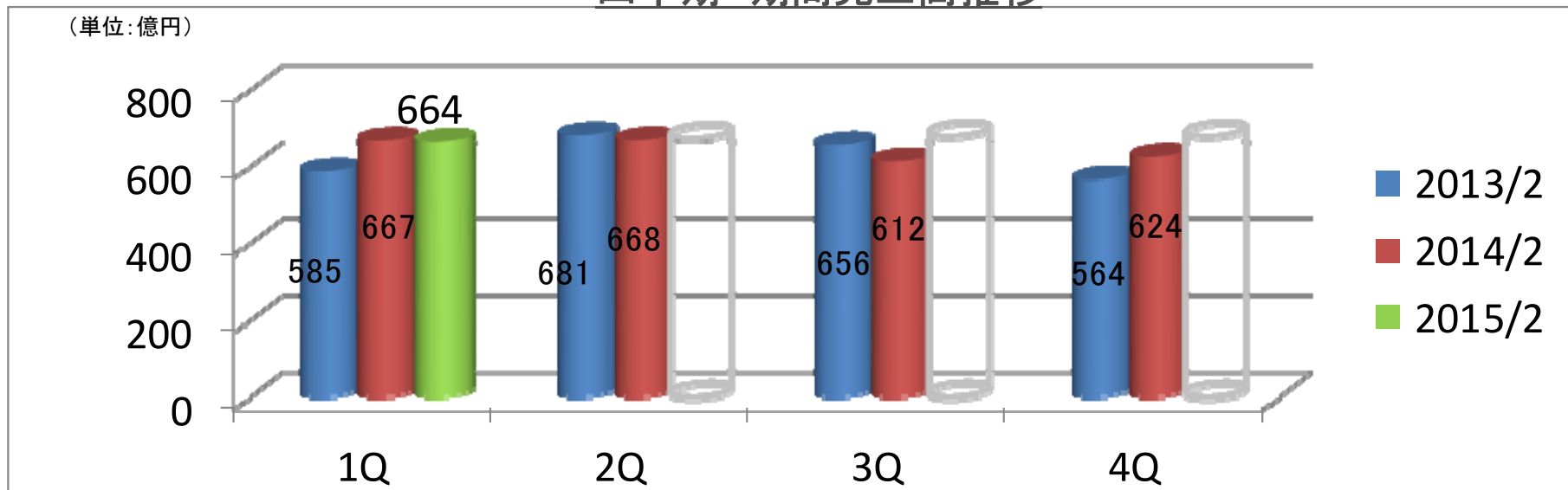
連結貸借対照表

単位:億円

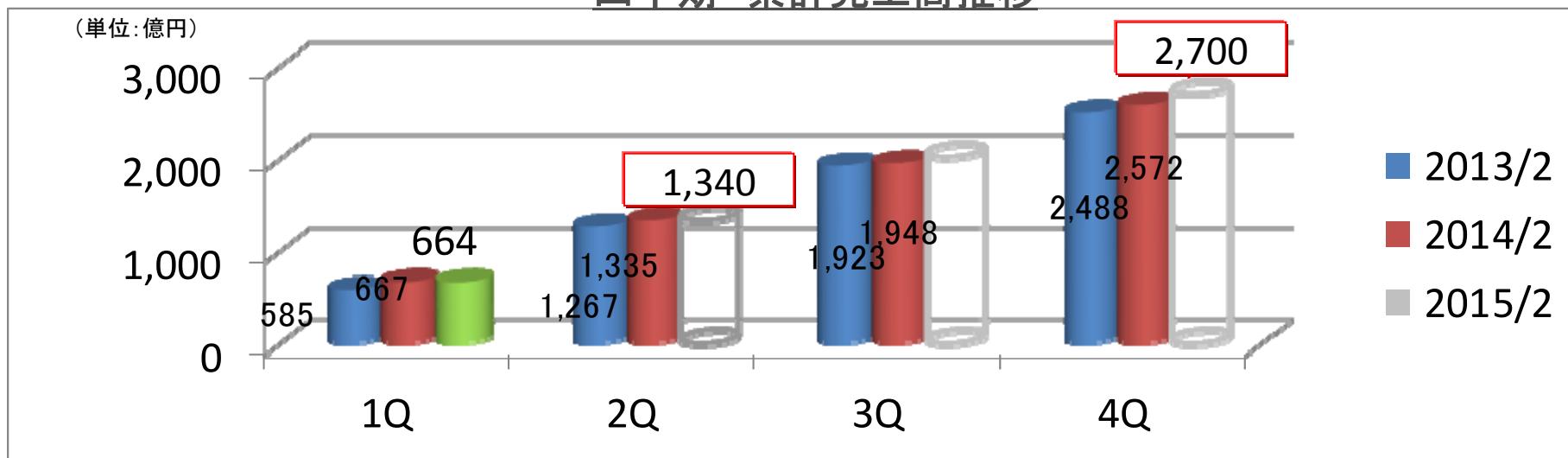
	2014年 2月28日	2014年 5月31日	増減額		2014年 2月28日	2014年 5月31日	増減額
流動資産	903	950	47	流動負債	393	432	39
固定資産	217	214	△2	固定負債	15	14	△0.7
有形固定資産	42	44	1	負債合計	408	446	38
無形固定資産	116	114	△2				
投資等	58	55	△2	純資産合計	713	718	5
資産合計	1,121	1,165	44	負債・純資産合計	1,121	1,165	44

過去3カ年の四半期推移:売上高

四半期 期間売上高推移

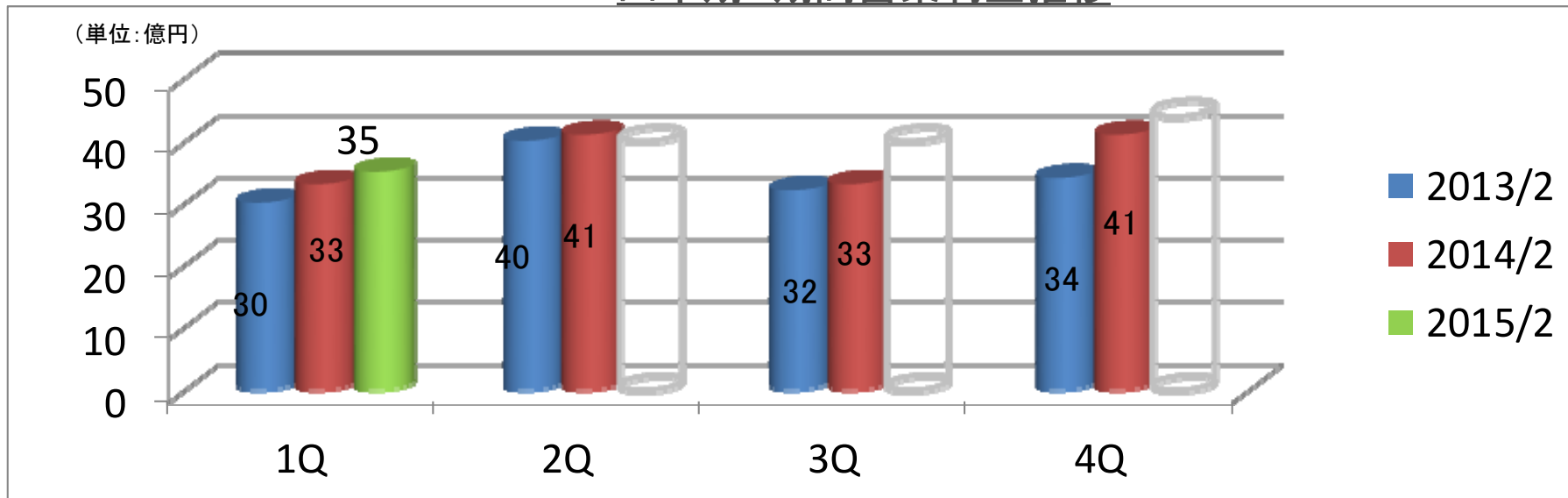


四半期 累計売上高推移

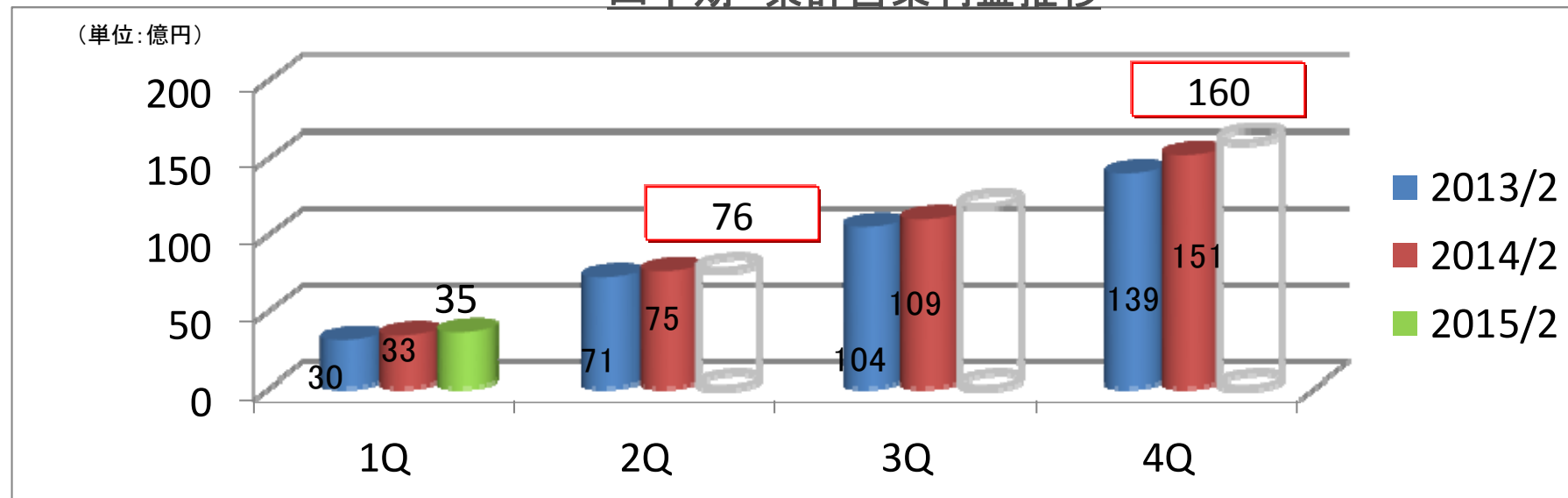


過去3カ年の四半期推移: 営業利益

四半期 期間営業利益推移



四半期 累計営業利益推移



1. 日本、アジアの営業体制変革:

■ ソリューション営業の徹底

- CRM(Customer Relationship Management)による、
営業活動の進捗管理を徹底、重点顧客の絞り込みによる
新規獲得の強化、既存顧客との取引拡大
- 顧客/業種別の営業体制の構築を推進



ITツールにより、営業活動を効率化、
生産性向上に向けたデータ管理を徹底

2. 『衛生清掃』および『エネルギーソリューション』の確立

■ 衛生清掃

- 清掃業務標準化モデルの完成(2Qまで)と展開
- 病院/介護施設向け衛生清掃モデルの構築

■ エネルギーソリューション

- 「設備管理一体型ESCO(省エネサービス)」の構築と展開
- ファシリティコスト削減モデルの確立、設備のライフサイクルコストの最小化を実現

単位:億円

	2015年2月期通期予想			2014年2月期実績	
	金額	売上比 (%)	前年比 (%)	金額 (実績)	売上比 (%)
売上高	2,700	100.0	105.0	2,572	100.0
営業利益	160	5.9	105.9	151	5.9
経常利益	160	5.9	106.0	150	5.9
当期純利益	86	3.1	105.4	81	3.2

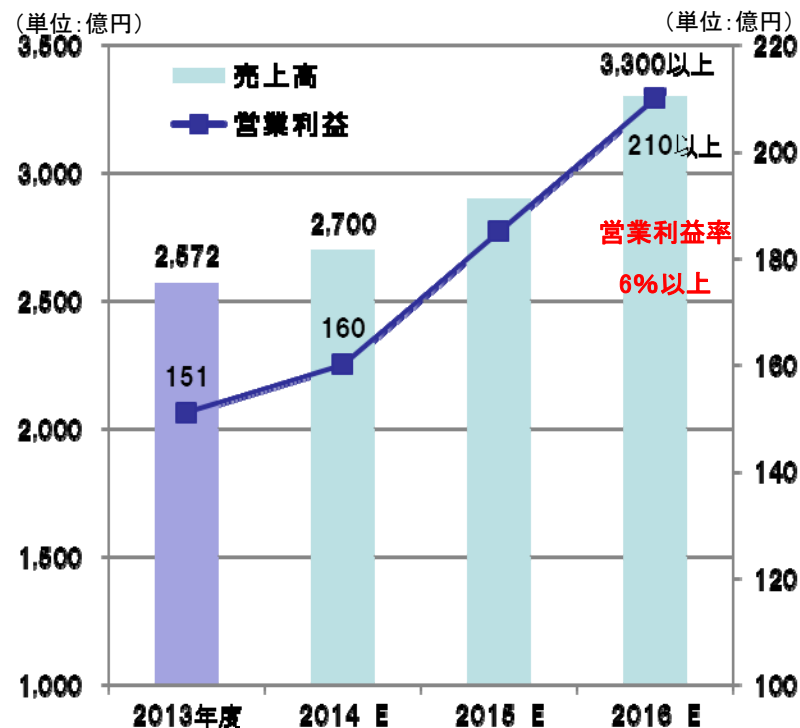
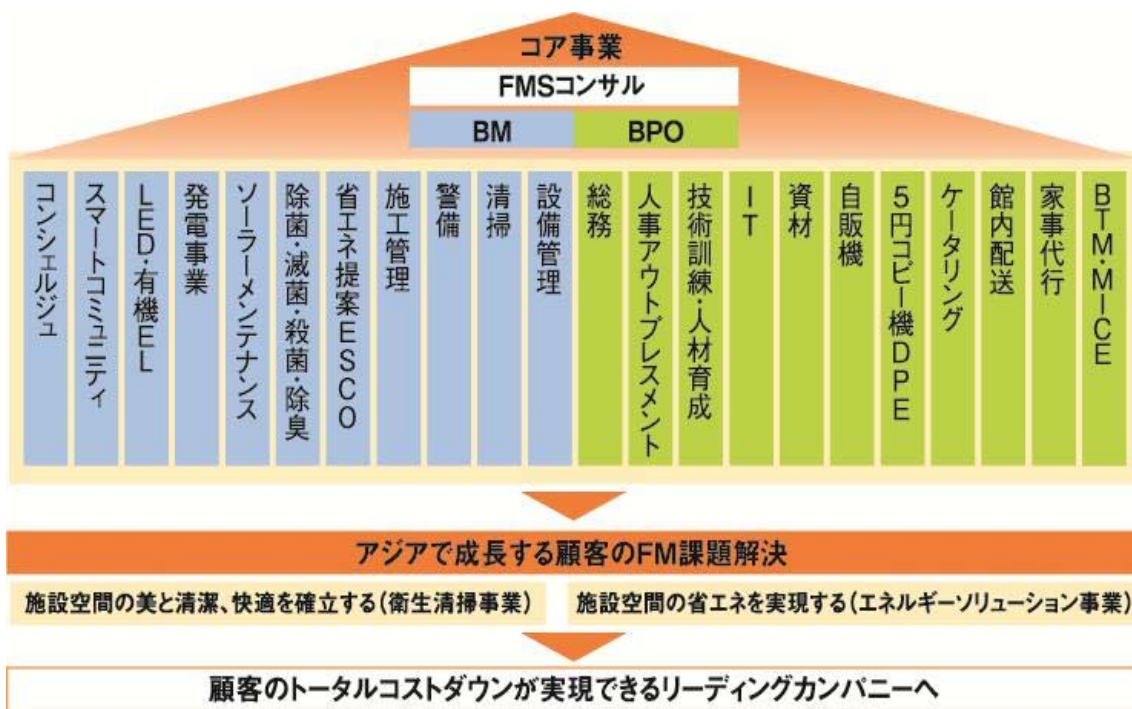
経営理念

私たちは、
お客さま、地域社会の
「環境価値」を創造し続けます



2016年グループビジョン

アジアで成長する企業の施設に対して最高の快適と最高のコストパフォーマンスを提供できるファシリティマネジメント会社になります。



■ 中期経営計画達成に向けた、社内体制の構築推進

- ・競争優位性の確立へ向けた、営業戦略会議・開発戦略会議の新設
- ・中期経営計画の進捗管理、ローリング体制の構築

■ 国内3つの成長ドライバー：1Qの取り組み

衛生清掃

清掃業務の効率化により生産性を向上をめざし、動画マニュアル等による教育・研修の実施、新作業シフト設計
⇒全直営センターへ標準化モデル導入(2Qまで)
病院等への**衛生清掃システムの検証着手**

エネルギーソリューション

全国に施設を持つ企業において、当社のBEMS導入施設に向けたデータ分析に基づく省エネ追加提案による実績が評価され、複数の施設で**BEMS切替え受託を実現**

グループ外営業

イオングループ外顧客への拡販に向けた営業体制の見直し
⇒ 省エネ商材や顧客・エリア・施設に特化した**ソリューション営業体制へシフト**

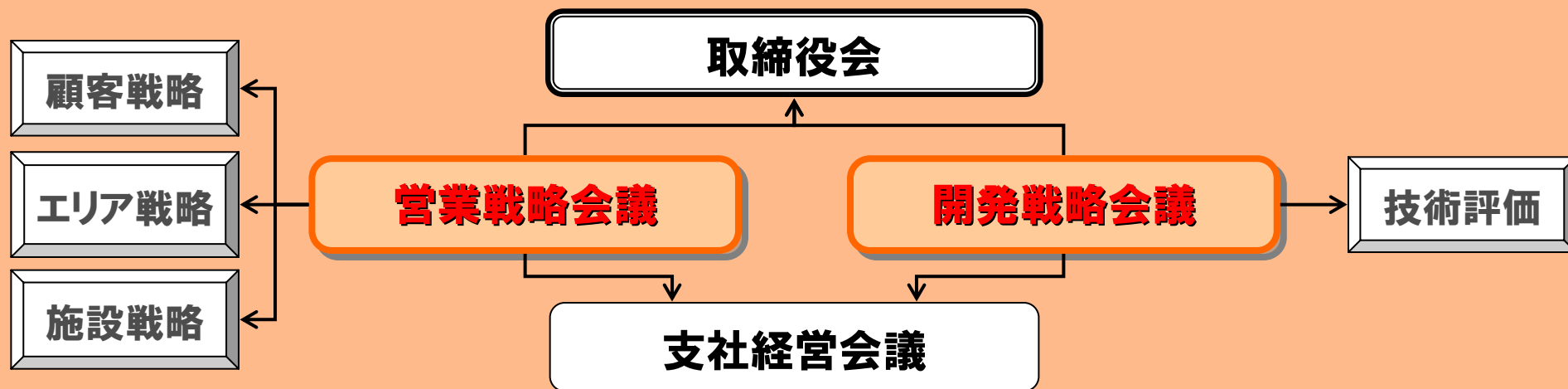
■ 競争優位性の確立へ向けた体制構築

- グループ外営業の抜本的見直し
【ソリューション営業への変革】

営業戦略会議

- 業務の品質向上と更なる進化
【サービス・商品の開発・改良】

開発戦略会議



商業施設で培ってきた日本No1の

総合FMSを、病院・介護施設へ



・全国で展開する大手病院グループのニーズ

➢ 衛生・環境、安全・安心、サービスの均質化、コスト削減など

・欧州メーカーや国内大手商社ヘルスケア部門との
アライアンスにより、サービスの開発を推進

➢ 「衛生清掃」から施設のエネルギー管理や資材供給、
自販機の設置など、**総合FMSの提供へ**



2014年6月16日、日本ビル新聞より

■ アジアにおける総合FMS事業の拡大

- 中国で累計140(前年同期87件)
- マレーシアで累計47(前年同期22件)
- ベトナムで累計58(前年同期0件) ※2013年1月より事業開始



AEON DELIGHT(MALAYSIA) SDN. BHD.



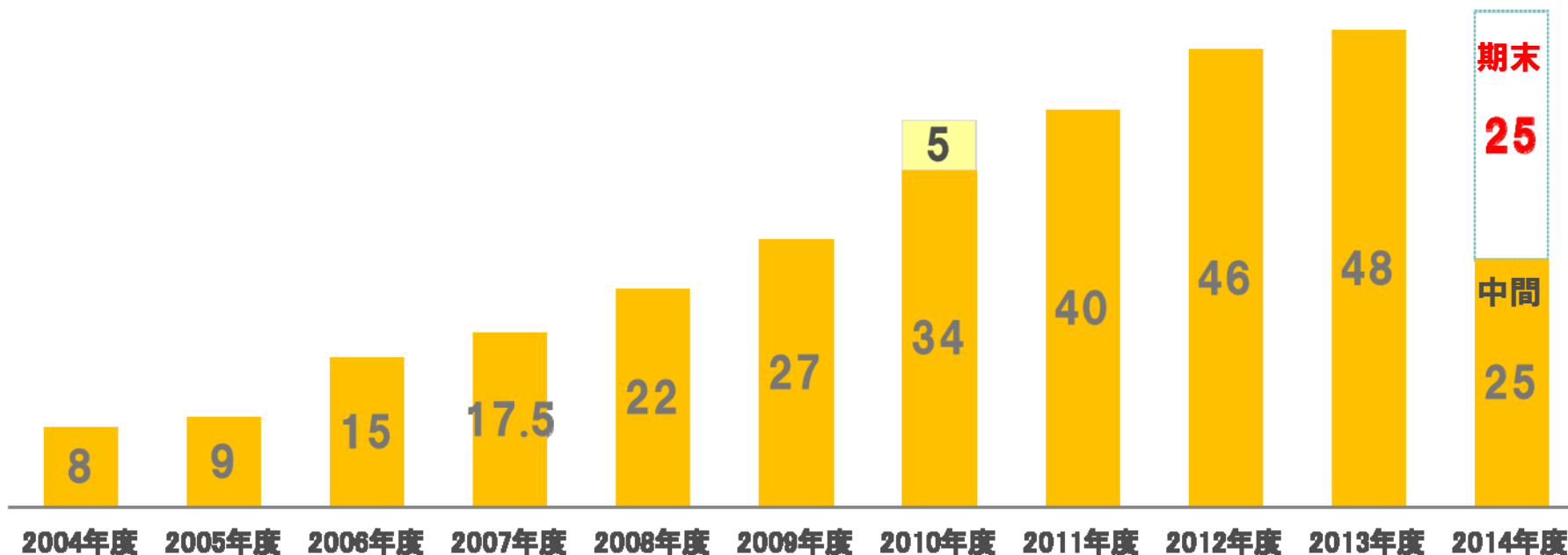
AEON DELIGHT(VIETNAM) CO., LTD.



2005年度以降10期連続の増配を目指します

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
配当額	8.0円	9.0円	15.0円	17.5円	22.0円	27.0円	39.0円	40.0円	46.0円	48.0円	50.0円

□ 配当予想 ■ 記念配当 ■ 配当金



※当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。2004年度期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当金額です。

※2010年度の期末配当には、記念配当5.00円を含んでおります。

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

- ◇全て連結を対象として記載
- ◇記載金額は百万円未満を切り捨て
- ◇比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード:9787)

IR担当連絡先 部署名:グループ戦略本部
責任者名: 高橋(タカハシ)
TEL 043-351-2563

又は、ホームページよりお問い合わせください。
<http://www.aeondelight.co.jp>

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2014年7月2日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。